



巻頭言

人類の大転換期に私はどう生きるか

九州大学名誉教授 村山正治



1, 5月21日、対面・Zoomでの特別講演のご招待にあずかり、大変光栄なことと、とても嬉しい気持ちです。大学時代からのこれまでの私のカウンセラー修業のプロセスを聞いていただきました。前半の講演のあと、参加者からの質問・感想を金子先生からの質問と言う形で、私から思いがけない話しをたくさん引き出していただき、私自身がとてもわくわくした体験でした。黒木先生はじめ準備スタッフの方々とお話ができ、ふるさとに戻ってきた気分になりました。また、梅野彰事務局長を中心としたスタッフの方々から講演アンケート結果を送付いただき、対面・Zoom参加者のそれぞれから貴重な感想をいただき心から感謝申し上げます。

2, 1960年代の世界的パラダイムシフトを、1968年の大学紛争を教養部教員として体験し、大きなインパクトを受けました。2000年からは、もっと大きな人類史的パラダイムシフトの時代に生きていると感じています。この大潮流の中で、心理臨床家として私はどのように生きたいのか？ 自分に問いかけています。ロジャースは70歳代にエンカウンター・グループをツールとして国際紛争の緩和を実践し、1987年ノーベル平和賞の候補になりました。

3, 私たちネットワーク仲間と共に開発してきたPCAGIP法やフィンランド生まれのオープンダイアログなど「新しい人間理解の対話法」をツールとして、日本の教育・福祉・産業・介護・キャリアの領域がぶつかってきている課題に取り組んでみたいと思っています。

4, パートナー村山尚子とは相互理解・相互支援の二人三脚で取り組んできています。講演のときにご理解いただいたように、私は高齢化による難聴を抱えて生きています。それはグループワークや対談には大きな障害になっています。どこまでやれるか分かりませんが、出来るところまで二人でささやかな挑戦をしてみたいです。

目次

[特別講演会のご報告](#) -2

[2022年度事業報告](#) -3

[2023年度事業計画](#) -4

[2023年度
研修会・講演会案内](#) -5

[相談員募集案内](#) -6

村山 正治 先生 特別講演会のご報告

2023年5月21日(日)、パーソンセンタードアプローチ(PCA)の第一人者、村山正治先生(九州大学名誉教授、東亜大学大学院教授)をお招きし、特別講演会を開催いたしました。会場・オンラインでの開催形式で260名に及ぶ方にご参加いただきました。

前半では、村山先生が学生時代からの今に至るまでの出会いや悩みなど臨床家として体験されたことについてお話をいただき、後半は参加者からの事前質問をもとに村山先生のお考えをお答えいただきました。

「人間は絶えず変化していき、生きていくプロセスこそが人生である」と講義の中で語っていただいたように今回の講演会では「プロセス」と「変化」そして「コミュニティ」というポイントから日々の臨床の中で基盤となるヒントを与えていただきました。

今回の講演会を通して、参加者の方は臨床家としての今後の在り方や“自分自身になること”について深く考えるきっかけになったとともに、今後も臨床の場に生きていくための勇気と心の温かさを村山先生から与えていただいた方が多かったように感じます。

参加者の皆さまの声

1人1人違って良い、他人との違いを大切にしたら良いというお言葉、自分を許し、他人を許すことにつながると思い、心が温かくなりました。ご講演を聞くことができて本当に良かったです。

村山先生らしい柔らかい笑顔とクライアントさんを語る時の生き生きとされている語口、それから自身の学生時代からの様子まで自己開示して下さる様子を見ながら、ZOOMを通してでもこちらの気持ちが開いてくるというか、安心できるというか、呼吸しやすいというかそのような感覚になりました。

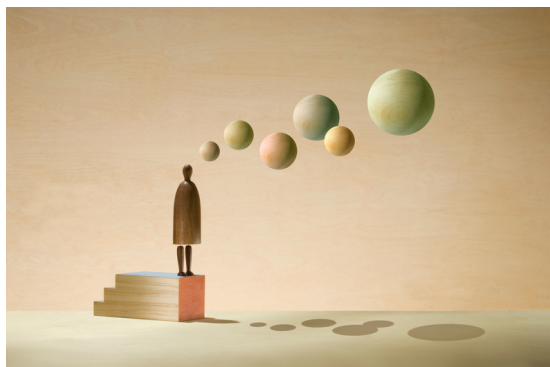
今後自分はどのように生きていこうかと考え揺れる今の自分にとって、今回の村山先生の講演はとても勇気づけられる貴重な時間でした。"自分の感触を大切にする"、"すぐに成功・失敗のラベルを貼らない"、"弱みを受け入れるととらわれなくなり、自分の良さが見えてくる"、"弱みを受け入れるには仲間を作ること"など、多くの言葉が心に残りました。

今後どう臨床家として人間として成長していきたいか、村山先生のお話を聞いて考えるエネルギーをもらいました。

自分自身を生きる、自分の感触を大切にするということが、臨床家としてだけでなく、人間として大切なのだと感じました。

自分を素直に受け入れるということがどういうことなのか、持ち味を活かすということがどういうことなのか、村山先生のご経験について何う中で納得できたように思います。動き出す勇気をいただきました。

村山先生の、臨床家へと進む人生の道のり、その中での出会いや迷い、いろんなエピソードを交えてお聞きできて、とても貴重な時間でした。臨床心理士の仕事は領域も幅広く、働き方も様々です。自分も先生のように、自分の感覚に目を向けて、それを大事に、どのような心理士として生きていくか、改めて考えたいと強く感じました。ありがとうございました。



2022年度 事業報告

臨床心理サービス事業

こだちでは、臨床心理士の資格を持った相談員の心理面接事業が大きな柱となっています。2022年度はインテーク面接 130件(図1)、総面接回数 1679回で(図2)、感染症対策を徹底しながら運営を継続しました。同時に遠隔カウンセリングも継続し、昨年度に引き続き、感染不安や感染予防のため対面カウンセリングが困難な方に対する支援を行いました。

相談内容は例年同様、子どもや保護者の相談(不登校、発達の相談、親子関係、友人関係等)や成人の相談(家族関係、対人面での悩み、会社の間人関係、うつ等)と、多岐にわたる相談内容があり、医療機関や学校と連携しながら面接を実施しているものも多くあります。

また、家庭学習支援事業の派遣回数は320回となりました。家庭学習支援員の登録も、九州大学の大学院生のみならず県内の各大学にも引き続きご協力いただきながら活動を行うとともに、研修内容を充実させて、ご家庭への支援に還元できるように取り組んでいます。

思春期居場所支援事業(ここりーと)も、継続的にご利用される方もいらっしゃるほか、随時体験会を開催しながら、参加者のニーズに合わせた活動を企画・実施しました。

図1.インテーク面接回数の推移

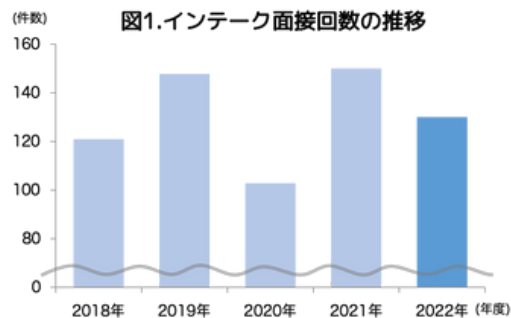
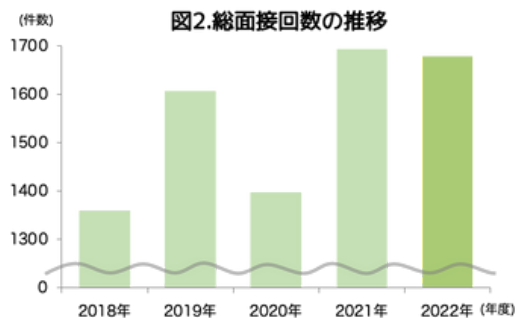


図2.総面接回数の推移



協働事業



学校・病院・行政機関、企業等へ講師派遣を行い、2022年度も様々な研修会を行いました。毎回ご好評をいただき、毎年ご依頼くださる機関も増えております。

臨床心理学の知見を活用した地域社会の貢献を当法人の設立理念として掲げていますが、会員のみなさまのご協力から、地域の多くの企業、病院、学校とのつながりがさらに広がっています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

研修事業

2022年度は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、研修会・講演会はオンライン開催中心となりました。オンラインで開催することにより、北海道から沖縄まで、全国から多くの方にご参加いただき、こだちの活動を知っていただく機会にもなりました。

また感染拡大状況を考慮しながら、対応策を講じつつ、若干ではありますが対面での研修も開催することができました。

研究事業・助成金

2022年度、活動助成により実施した研修会・講演会は以下の通りです。

*大阪コミュニティ財団 発達障害者の支援向上事業：子どもの社会性発達支援の基礎(全2回)

2023年度 事業計画

臨床心理サービス事業

カウンセリングルーム「こだち」では、臨床心理士・公認心理師の資格を持つ相談員が心理面接を担当しています。

家庭学習支援事業では、不登校や発達障害を抱える児童生徒を対象として、主に臨床心理学を専攻している大学生・大学院生の学習支援員の派遣を行っています。

家庭学習支援は「①家庭学習支援員の派遣」「②保護者相談」「③家庭学習支援員の資質向上(研修)」の3つを1セットと定めています。



思春期居場所支援事業(ここりーと)では、不登校児童生徒やひきこもりの青少年を対象に、金曜日の13時～16時にこだちのプレイルームを使ってフリースペース活動を行っています。スタッフ数名とゲームや折り紙、おしゃべりをしたり、ゆったりとした時間を過ごしています。また、活動前後にスタッフミーティングを行い、関わり方などの話し合いを行います。

協働事業

地域のニーズに応じて、カウンセラー・講師派遣事業を継続的に実施しております。講師派遣に関しては好評のものも多く、引き続き依頼が届いている機関も多くあるほか、新しいご依頼も増えております。

今年度も引き続き、大学生・社会人等を対象としたキャリア支援講義、ストレスケア講義等の講師派遣を行っていきます。



A photograph of a hand in a white sleeve pointing to a QR code on a dark green chalkboard. Above the QR code, the text reads "各種研修会のご案内はこちら" (Information on various training sessions is here).

研修事業

2023年度も引き続き、対面・オンライン両方の研修会、講演会を企画しています。参加申し込みは左記QRコード他、こだちから送付するチラシやホームページ、SNS等にも掲載しておりますので、ぜひご確認ください。

研修会に関するご感想やご意見もお寄せいただくと嬉しいです。皆様のご参加をお待ちしております。

2023年度実施 研修会・講演会のご紹介

受付中



事例で学ぶ テストバッテリー

講師：高橋 靖恵 先生（京都大学）

【第1回】

~~CLOSED~~ 2023年7月23日(日) 定員：30名

【第2回】

2023年11月23日(木祝) 定員：30名

事例提供者
募集



WISC・WAIS 研修会

講師：木谷 秀勝 先生（山口大学）

【初級編】

2023年9月10日(日) 定員：65名

【第2回】

2024年1月28日(日) 定員：50名

枠を拡大
しました！

事例提供者
募集

受付中



子どもの心理療法入門

講師：山崎 篤 先生
(JPS精神分析的な精神療法科センター)

【ライブ視聴】

2023年8月27日(日) 定員：100名

【アーカイブ配信】

2023年9月3日(日)～9月17日(日)

受付中



ころ研ABC

(基礎から学ぶロールシャッハ法)

講師：船津 文香 先生
(九州大学キャンパスライフ・健康支援センター)

日程：2023年11月11日(土)

定員：30名



こだち設立17周年記念 福留留美先生 公開SV

講師：福留 留美 先生（九州大学名誉教授）

日程：2023年11月12日(日)

定員：100名



子どもの 社会性発達支援の基礎

講師：浜田 恵 先生（中京大学）

【第1回】

2023年11月19日(土) 定員：80名

【第2回】

2023年12月2日(土) 定員：50名
80名



こだち精神医学講座

講師：三木 浩司 先生（小倉記念病院）

日程：2024年2月18日(日)

定員：70名

こちらのご案内は2023年7月末時点での予定となります。感染症の拡大状況により、研修会の延期・中止、開催方法変更等の措置を講ずる場合があります。

研修会の最新情報や変更時のご案内はホームページやSNSで随時お知らせいたしますのでご確認ください。



研修会案内



対面



オンライン



ハイブリッド

相談員募集のご案内

こだちでは、相談受付の増加にともない、一緒に働いてくださる登録相談員を募集しております。ご関心がありましたら、まずはこだち事務局 (jimukyoku@codachi.org) までご一報ください。

- 【業務内容】主に来談者へのカウンセリング
- 【必要資格】臨床心理士資格を有する人、当法人の正会員であること
- 【勤務時間】月曜日～土曜日の10:00～18:00の間で都合のつく曜日・時間帯。
- 【勤務場所】九州大学こころとそだちの相談室
(福岡市早良区西新2-16-23 九州大学西新プラザ内 産学交流棟)



入会のご案内

こだちは今年で17年目を迎えます。地域に定着した心理臨床サービスを継続するには、収支の安定が求められます。NPO法人の会員となって、私たちの活動を支えていただけると幸いです。会員になっていただける方はぜひ、こだちまでご連絡ください。なお、会費は1年毎の更新制です。よろしくお願いいたします。

※住所等の会員情報に変更になりましたら事務局までお知らせください。
登録内容の変更はHPからも受け付けております。

- 会員(ひと口5,000円)：臨床心理士・公認心理師(予定)・医師
その他対人援助に関わる方(定款参照)
- 学生会員(ひと口1,000円)：学部生・大学院修士課程
- 賛助会員(個人：ひと口5,000円・団体：ひと口10,000円)



ご支援のお願い

当NPO法人では、会員以外の方からも、ご寄付をお待ちしております。関心や興味を持たれた方は、ぜひご連絡ください。

交通のご案内



〒814-0002
福岡市早良区西新2-16-23
九州大学西新プラザ 産学交流棟
TEL / 092-832-1345
FAX / 092-832-1346

地下鉄でお越しの方
福岡市営地下鉄空港線 西新駅下車後
7番出口より徒歩にて約10分

バスでお越しの方
西鉄バス「西新一丁目」または「今川橋」下車後
徒歩にて約10分

FOR MORE INFORMATION
最新情報配信中



九州大学 こだち

